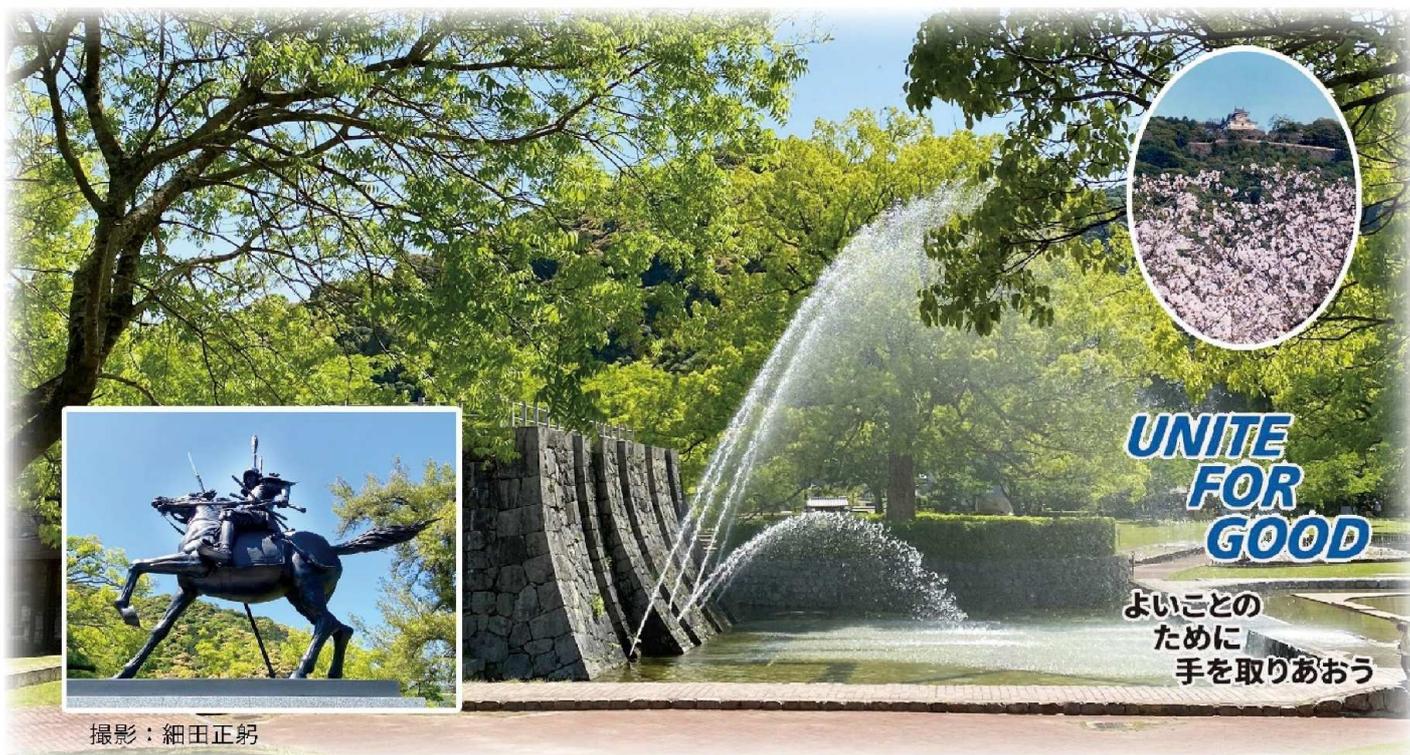




# 岩国西ロータリークラブ週報

WEEKLY REPORT, ROTARY CLUB OF IWAKUNI WEST

HPのQRコード



撮影：細田正躬

2026年1月23日(金) 第2670回例会  
《職業奉仕 月間》

ロータリーソング 「それこそロータリー」

ゲスト卓話  
藤井 淳史 様  
日刊いわくに 代表取締役  
『宇野千代と岩国～その人生と多彩な才能～』

岩国弁ラジオ体操

次週1月30日(金) プログラム  
ゲスト卓話 小林元壯様 岩国市医師会長

## 国際ロータリー第 2710 地区 岩国西ロータリークラブ

事務局 〒741-0062 岩国市岩国一丁目1-7 岩国国際観光ホテル内  
TEL:(0827)43-1323 FAX:(0827)41-1335  
E-mail:ro@iwrc.jp HP:http://iwakuni-west.com

例会場 岩国国際観光ホテル TEL:(0827)43-1111  
毎週金曜日 12:30～13:30  
会長/芦岡謙一 副会長/茶藤淳一 幹事/清水光晴  
編集者 雑誌会報委員長/長野英彦

### 四つのテスト

(言行はこれに照らしてから)

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

# 会長報告

## 理事会報告

- 1) 次の事項が1月定例理事会で承認されました。
  - ① 12月会計報告
  - ② IMについて
    - 【日時】 3月22日(日)14:00～
    - 【場所】 岩国国際観光ホテル
    - 【基調講演】 講師Ⅰ：徳山工業高等専門学校校長 阿部 恵 様  
講師Ⅱ：ヘルシンキ大学社会科学部障害学教授 勝井 久代 様
- パネルディスカッション
  - 【テーマ】 教育を通じた地方創生 「留学について」
  - 【コーディネーター】 松川卓司様 (IM実行委員長)
  - 【コメンテーター】 阿部恵様・勝井久代様・守山敏晴様 (岩国市教育長)
- ③ 休会会員のIM登録料を予備費から捻出する
- ④ 例会変更について  
4/17(金)台北エバーグリーンRC会員来訪のため、時間を19:00からに変更し夜間例会とする
- ⑤ 岩国3RC合同例会講師に謝礼を30,000円支払う  
講師：ぜんじろう (芸人)  
謝礼：岩国RC 4万円 岩国西RC・岩国中央RC 各3万円 合計10万円

## 臨時理事会報告

- 1) 次の事項が臨時理事会で承認されました
- ① 國清篤会員を1/9から4/10まで出席免除とする  
岩国西RC細則第11条(a) 理事会は正当かつ十分な理由、条件および状況によるものを承認するに該当すると判断

## 幹事報告

- 1) RI第2710地区行動計画推進会議 (Zoomミーティング) について  
RI第2710地区 土肥慎二郎ガバナーより、RI第2710地区第4回地区行動計画推進会議 (Zoomミーティング) 開催のご案内が届きました。濱村雅彦行動計画委員長が出席いたします。  
【日時】 2/17(火)17:00～
- 2) RI第3690地区 (韓国) 地区大会 地区主催ツアーのご案内について  
RI第2710地区 土肥慎二郎ガバナーより、RI第3690地区 (韓国) 地区大会 地区主催ツアーのご案内が届きました。参加を希望される方は事務局までご連絡ください。  
【開催場所】 韓国 高陽市  
【旅行日程】 4/22(水) 夕食時RI第3690地区 金ガバナー他数名との交流  
4/23(木) ソウル観光・RI会長代理歓迎晩餐会参加  
4/24(金) 本会議参加  
【旅行代金】 未定 (福岡空港発・着 エコノミークラス利用)
- 3) 国際ロータリー及び第2710地区下期負担金について

送金先	区 分	1人当たりの金額
RI日本事務局	人頭分負担金	6,439 円
第2710地区	地区負担金	10,000 円
米山記念奨学会	普通寄付金	2,500 円
ロータリー友事務所	ロータリーの友購読料	1,650 円
	合 計	20,589 円

4) 岩国国際観光ホテル駐車場についてお詫びとお願い

岩国国際観光ホテル様より、館内工事に伴い、工事関係者用として駐車場の一部を確保しているため、皆様にご迷惑をお掛けしますとお詫びと協力をお願いがありました。

5) 藤岡市助博士顕彰会会費について

藤岡一助博士顕彰会 豊島貴子会長より、令和7年度藤岡市助博士顕彰会の会費の納入お願いが届きました。

【会費】 1,000円/口

委員会報告

1) プログラム

ふじい あつし 藤井 淳史 様 プロフィール

明治大学政治経済学部卒

防長新聞編集局長

日刊いわくに代表取締役（日刊いわくに、週刊いわくに発行人）

宇野千代顕彰会副会長、NPO法人宇野千代生家副理事長

※宇野千代年譜を週報末に掲載

2) 米山記念奨学会

(公財)ロータリー米山記念奨学会より、2025-26年度下期普通寄付金のお願いが届きました。

「ハイライトよねやま310号」が届きました。閲覧を希望される方は事務局までお知らせ下さい。

RI第2710地区 福山周米山学友会会長より、第2710地区米山学友会2025-26年度賛助会員入会のお願いが届きました。賛助会員入会をご希望の方は事務局までご連絡ください。

【会費】 3,000/口 (何口でもOK)

【目的】 第2710地区米山学友会は(公財)ロータリー米山記念奨学会の目的に賛同し、その事業を支援するとともに、米山学友・米山奨学生とロータリアンとも相互に交流して親睦友誼を深め、ロータリー及び奨学会の理想である世界理解、親善、平和を推進することを目的としています。

3) 出席

1月度出席状況 ビジター 0名 累計8,292名

	会員数	出席人数	当日出席率	メイクアップ	修正出席率
1/9	65名(免除1名)	56名	87.50%	-	-
1/16	65名(免除3名)	54名	87.10%	-	-



## ◎宇野千代の年譜

- 0歳 明治30年(1897) 玖珂郡横山村(現岩国市川西町) に生まれる(11月28日)
- 2歳 明治32年(1899) 実母死去、翌年、父再婚
- 13歳 明治43年(1910) 岩国尋常小学校卒業、岩国高等女学校入学
- 17歳 大正 3年(1914) 女学校卒業、川下村小学校代用教員となる
- 18歳 大正 4年(1915) 同人誌「海鳥」発行。同僚との恋愛を理由に教職を追われ京城に渡る
- 19歳 大正 5年(1916) 帰国。従兄弟の藤村忠(亮一の弟)を頼って京都へ。同棲生活
- 20歳 大正 6年(1917) 東京帝大に入学した忠と上京。レストラン燕楽軒で多くの作家の知遇を得る
- 22歳 大正 8年(1919) 藤村忠と結婚。翌年、忠が北海道拓殖銀行就職。札幌移住
- 24歳 大正10年(1921) 「時事新報」懸賞短篇小説で処女作「脂粉の顔」1等当選。賞金200円。2等は尾崎士郎
- 25歳 大正11年(1922) 札幌より上京。「墓を発く」の原稿料366円を受け取り岩国帰郷。再び上京。尾崎士郎と出会う
- 26歳 大正12年(1923) 荏原郡馬込町(文士村)に土地を購入、家建てる
- 27歳 大正13年(1924) 藤村忠との協議離婚成立、尾崎士郎と結婚。作家としての地位を固める
- 29歳 昭和元年(1926) 3月から半年間、尾崎とともに岩国市新港に滞在
- 30歳 昭和 2年(1927) 川端康成に誘われ伊豆湯ヶ島に初逗留  
梶井基次郎、三好達治、藤沢恒夫らと知り合う
- 33歳 昭和 5年(1930) 情死未遂事件を起こした東郷青児と取材を通して会い、同棲のちに東郷の話にもとづき「色ざんげ」刊行
- 39歳 昭和11年(1936) 雑誌「スタイル」を発行。日本初のファッション専門誌として人気を博す
- 40歳 昭和12年(1937) 「スタイル」編集に参画した北原武夫と接近。渋谷区千駄ヶ谷に転居
- 42歳 昭和14年(1939) 北原と結婚。帝国ホテルで披露宴
- 47歳 昭和19年(1944) スタイル社解散。熱海へ疎開
- 49歳 昭和21年(1946) 北原を社長、千代を副社長として「スタイル」復刊。記録的な売上。翌年「文體」復刊。「おはん」連載。銀座みゆき通りの社屋に移住
- 61歳 昭和33年(1958) 第9回女流文学賞
- 62歳 昭和34年(1959) スタイル社倒産
- 64歳 昭和36年(1961) ドナルド・キーン訳『おはん』英米で刊行
- 67歳 昭和39年(1964) 尾崎士郎病没。北原武夫と離婚
- 70歳 昭和42年(1967) 那須に土地購入。きものの仕事のため「株式会社宇野千代」設立
- 71歳 昭和43年(1968) 岐阜県根尾村に「薄墨の桜」を見に行く。
- 75歳 昭和46年(1971) 第28回芸術院賞受賞
- 77歳 昭和48年(1973) 岩国・川西の生家復元が完成。勲三等瑞宝章
- 85歳 昭和56年(1981) 第30回菊池寛賞受賞
- 86歳 昭和57年(1982) 『生きて行く私』を毎日新聞社から刊行、ゲストセラーに
- 93歳 平成 2年(1990) 岩国市名誉市民。文化功労者として顕彰される
- 95歳 平成 4年(1992) 日本橋高島屋で「宇野千代展」
- 98歳 平成 8年(1996) 山梨県立文学館で「宇野千代の世界展」。6月10日に逝去。勲二等瑞宝章



※平成10年(1998)生誕百年。三越美術館(東京・新宿)で「生誕百年・宇野千代の世界展」以後、全国主要都市で巡回開催